

2021年度報告書



一般社団法人
FutureCreation



目次

1. 代表メッセージ	-----	p.2
2. 事業の概要	-----	p.3
3. 事業実績報告	-----	p.4
4. 事業に対する寄付物品等	-----	p.4
5. アンケート結果報告	-----	p.5-p.6
6. ご利用者さんの声	-----	p.7
7. 会計報告	-----	p.8
8. 2022年度事業計画	-----	p.9
9. 現在の課題と解決策	-----	p.10
10. ご協力いただいている皆様	-----	p.11
11. ご支援・ご協力のお願い	-----	p.12



向日市こども育み宅食

 **ANOTHERRoom** アナザー

1. 代表メッセージ

一般社団法人FutureCreationNでは、地域子どもたちやその家族の笑顔の数を少しでも増やすことができるようにこども宅食事業『向日市こども育み宅食』に取り組んでおります。2021年度には、合計7回の配送を通じて、延べ500世帯以上のご家庭にこども宅食をお届けすることができ、継続的な見守り活動を実施して参りました。そして、本活動は現在3年目に突入しており、これは何より地域の皆様のご協力の賜物であると改めて実感しております。日頃よりご支援・ご協力いただいております皆様には、心より御礼申し上げます。

そして、この度2022年度より京都府の委託事業としてひとり親のこどもの居場所づくり事業『ANOTHERRoom(アナザー)』を開設することとなりました。アウトリーチ型事業であるこども宅食事業と来所型事業であるこどもの居場所づくり事業とを上手く連携させることで、各ご家庭のより効果的な見守りを実現できるようにこれまで以上に努めて参ります。

最後に、今後の継続的な活動には、地域の皆様の更なるご支援・ご協力が必須となると感じております。『子育てがしやすい街づくり』、『住みやすい街づくり』、『誰一人取り残さない街づくり』の実現に向けて、引き続きのご支援の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



一般社団法人FutureCreationN
代表理事 森 干晟
(もり かんせい)

2. 事業の概要

一般社団法人FutureCreationNでは、向日市にて2020年度の中頃より、『向日市こども育み宅食』としてこども宅食事業に取り組んでいます。2020度は合計4回、2021年度には合計7回（特別配送を含む）の配送を行い、順調に配送ノウハウや見守りの経験を蓄積してきました。

この事業には、既向日市で活躍されている子育て支援団体等にも参画していただき、より良い子育て環境・住み良い向日市を創り上げる社会貢献事業の一環として実施しています。また、上記の取り組みについては、向日市内の企業や団体、農業関係者、向日市内にルーツを持つ企業・団体等からの寄付金や寄付物品、各種補助金・助成金等を元に実施しています。

1) こども宅食とは

繋がる

届ける・見守る

繋げる

『こども宅食』は、従来の来所型（拠点型）支援では繋がるのが困難であったが、支援を必要としている子どもやその家族とアウトリーチという外向き型支援により『繋がり』、定期的に食料品や日用品を『届ける』ことで、各家庭との関係性を構築し、相談ごとが生じた際や問題を抱えた際等に、気軽に相談できる環境を整備しています。そして、必要に応じて行政機関や地域の子育て団体に『繋げる』ことでそれらの解決をサポートしています。

つまり、こども宅食は単なる食支援ではなく、『見守りと繋ぎ』の役割を担っているのです。

こども宅食って必要なの？



支援が必要な世帯には、『助けを求めることができる世帯』と『助けを求めることができない世帯』が存在しています。後者は、自ら子ども食堂に行ったり、行政に出向いて支援を申し出ることが困難であるため、アウトリーチ型の『こども宅食』は有効な支援手段となっています。



支援が必要ない世帯

支援が必要な世帯

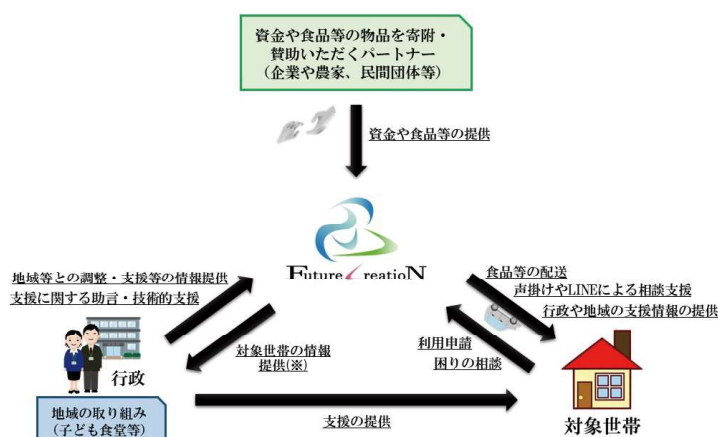
助けを求めることができる世帯
助けを求めることができない世帯

2) 向日市こども育み宅食について

『向日市こども育み宅食』は、一般社団法人FutureCreationNが運営主体となり、向日市にて実施しているこども宅食事業です。

向日市内にて経済的課題等を抱えている子育て世帯に食料品等をお届けし、継続的・定期的に見守ることで、必要な支援に繋げる取り組みです。

また、行政機関や地域の民間団体等と連携することで、より効果的な見守り活動となるように工夫を凝らしています。



※ 情報を提供する場合には、事前に対象世帯から許可を得ることとする。

3. 事業実績報告

配送回数



7回

(クリスマス特別配送を含む)

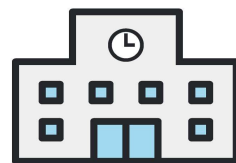
のべ配送世帯数



532世帯

(クリスマス特別配送を含む)

支援地域



一部小学校区(第1,2回配送)
全小学校区(第3回配送～)

配送品(例)

《食料品》

お米(約5kg)、野菜類、お菓子、
飲料品、乾物・レトルト食品、
インスタント食品 等

《その他》

衛生用品、日用品、文房具 等



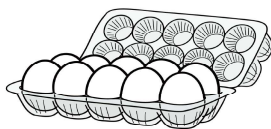
4. 事業に対する寄付物品等



玄米・精米
1,900kg



野菜類(6種類)
約500個



卵
約70パック



調味料(8種類)
約82個



レトルト食品・
缶詰等(44種類)
約1,830個



飲料(7種類)
約480本



お菓子(17種類)
約2,100個



衛生用品(6種類)
約1,240個



日用品(13種類)
約1,730個



その他(8種類)
約880個

5. アンケート結果報告

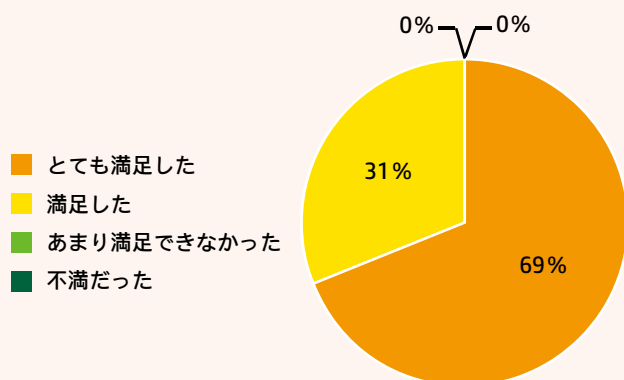
アンケート調査の概要

測定方法	ライン公式アカウントを介してweb入力式のアンケートへの回答を依頼
評価対象期間	2021年5月（第1回配送）から2022年1月（第5回配送）
実施期間	2022年2月23日から2022年3月9日
調査対象	向日市こども育み宅食ご利用家庭
回収数	65世帯
回収率	63%

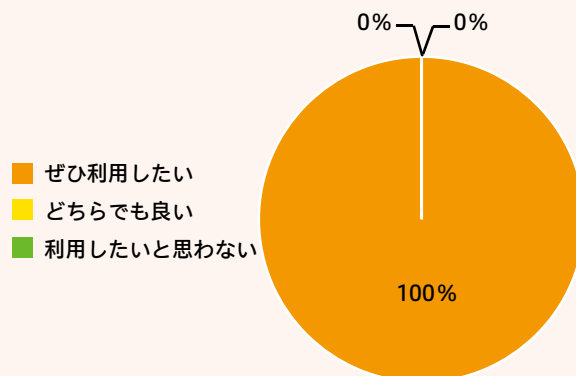
アンケート調査の結果

【配送の満足度と今後の利用意思について】

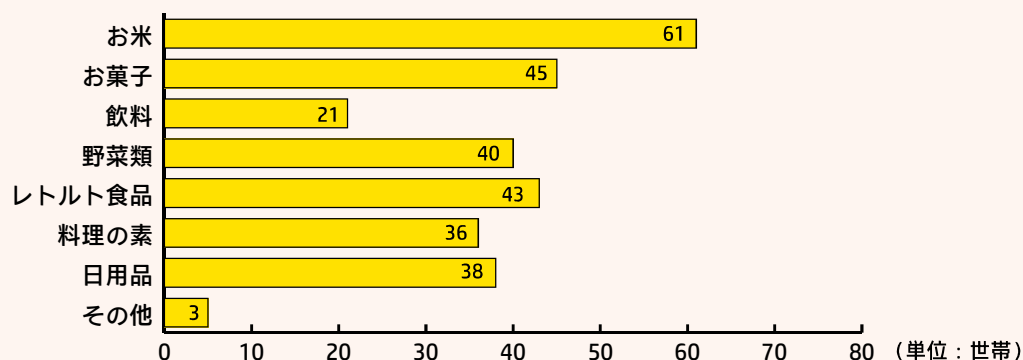
こども宅食の満足度について、最も近いご意見をお答えください。



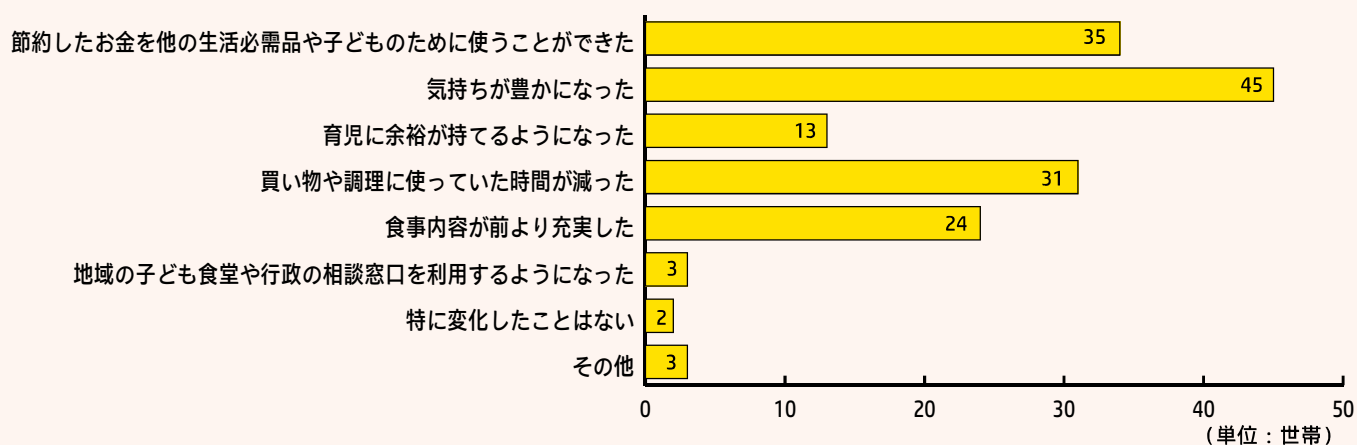
今後もこの事業を利用したいですか。



今回の配送品で良かった物は何ですか。（複数回答）

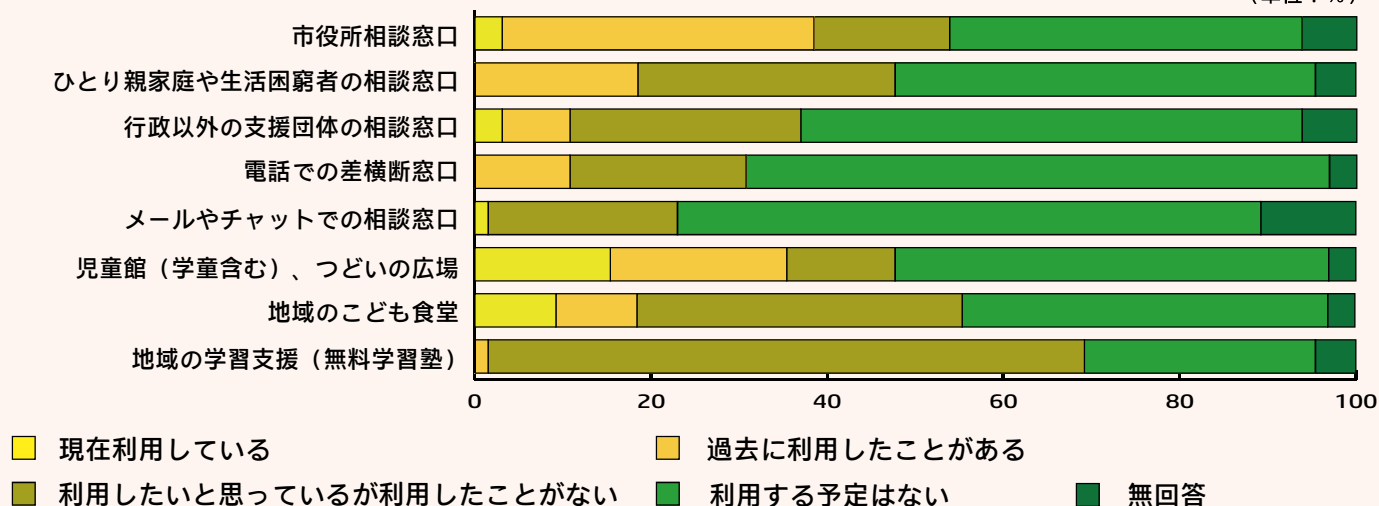


【こども宅食利用によるご自身・家族の変化】



【地域での支援、福祉サービスの利用状況】

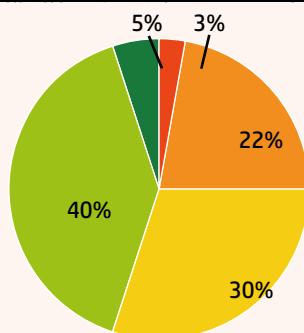
(単位：%)



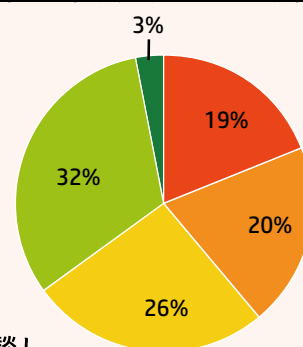
【地域での支援、福祉サービスについての考え】

- とてもあてはまる
- あてはまる
- どちらともいえない
- あてはまらない
- 全くあてはまらない

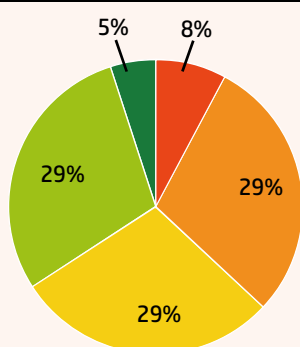
困ったとき、悩んだときの
相談相手や場所がわからない



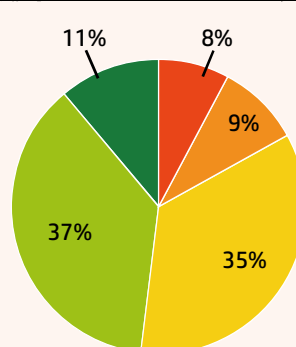
行政や支援団体に支援を受けても
それを他人に知られたくない



手続きややりとりが面倒で、福祉
サービスの利用を諦めたことがある



過去に支援機関に相談し
嫌な思いをしたことがある



アンケート調査の考察

新型コロナウイルスのワクチン接種や政策対応が進む中、経済活動はやや回復傾向にあります。しかし、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の悪化や円安の影響を受け、物価は高騰し、家計を逼迫している状況に変わりはありません。その上、新型コロナウイルスに感染したり、濃厚接触者になったりすることで仕事に行けず、収入が減少している世帯は多く、経済的・精神的にも苦しい状況下にあると考えられます。

本アンケート結果からも『向日市こども育み宅食』の満足度は『とても満足した』『満足した』を合わせると100%となり、今後の利用意思に関しても『ぜひ利用したい』という回答が100%を占めています。また、回答者の7割以上が当事業を通じて、『気持ち豊かになった』と回答しており、5割以上が『節約したお金を他の生活必需品や子どものために使うことができた』と回答していることから、経済面及び精神面の両面において、各家庭をサポートできているのではないかと考えます。

そして、【地域での支援、福祉サービスの利用状況】から地域のこども食堂や無料の学習支援の潜在的ニーズがあることは明白であるが、向日市においては量的課題や地理的課題があり、上手く利用に繋がっていないと考えられます。今後必要に応じて、このような支援やサービスを拡充していくことが急務であると考えています。

6. ご利用者さんの声



お米はとても助かります。
いつも半合を家族4人で分けていたのでケン力が絶えませんでした。
今は余裕を持ってご飯を炊いて皆お腹いっぱい幸せです。



いつも悩みを聞いて下さって、
繋がりがあることで気持ちが
ホッとします。

いつも助かっています。
毎日欠かせないマスクだっ
たり、子供が喜ぶお菓子だ
ったり、2ヶ月に1回とて
も楽しみにしています。



いつもありがとうございますm(_ _)m
優しく接して下さい、困ったら助
けてもらいました。
人と話す機会がないので聞いてもら
えると嬉しいです(^o^)

今回よく使う野菜が入って
嬉しかったです。お米も
いつも助かってます。
行政の相談にも初めて行か
せてもらいます。
ありがとうございます！



食料品や日用品などを
いただけて、すごく助
かります。子どもとの
会話も増え、気持ちに
も余裕が出て、前向き
な気持ちになれました。



お米が何よりも嬉しかったです。
子供と一緒に頂いたものを見な
がらすごく盛りがりました。



今回、このような支援をしてい
ただき、本当に有り難かったです。
シチューの素、お野菜も入って
おり当日、シチューにしました。
子供もお菓子など喜んでいました。
持ってきてくださった方も優しく
話しかけていただき、ありがとう
ございました。

毎回とてもありがたく感
じております。
お米は本当に助かります。
その他レトルトやお菓子
も子供が毎回楽しみにし
ております。
今後もぜひ利用させて頂
きたいので、よろしくお
願い致します。



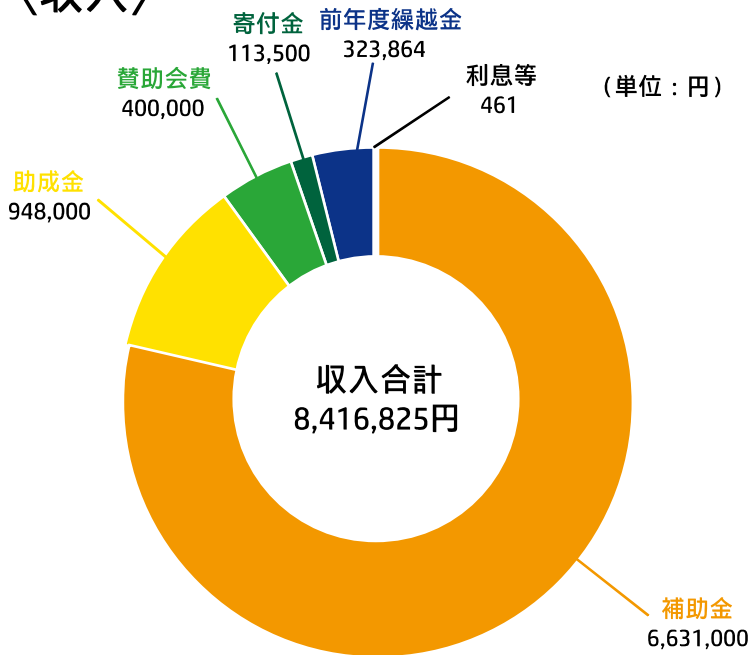
子供たちが成長盛りで
沢山食べるのですが野
菜は高く、お米でごま
かしてたのでお米が届
いた時に凄く助かりま
した。新しい就職先も
見つけられ働きに出るに
あたり子供たちのお昼
ご飯にインスタント食
品を利用することも増
え重宝しました。



毎回違う物をたくさんいただいて、
普段買わない食品などもありありが
たくいただいています。
お菓子や飲み物も子供が喜んで
毎回楽しみにしているようです。
前回いただいたウェットティッシュ
とても使いやすく、子供も手荒れ
せず使えて助かりました！
日用品や子供が使えるものがいた
だけると嬉しいです。

7. 会計報告

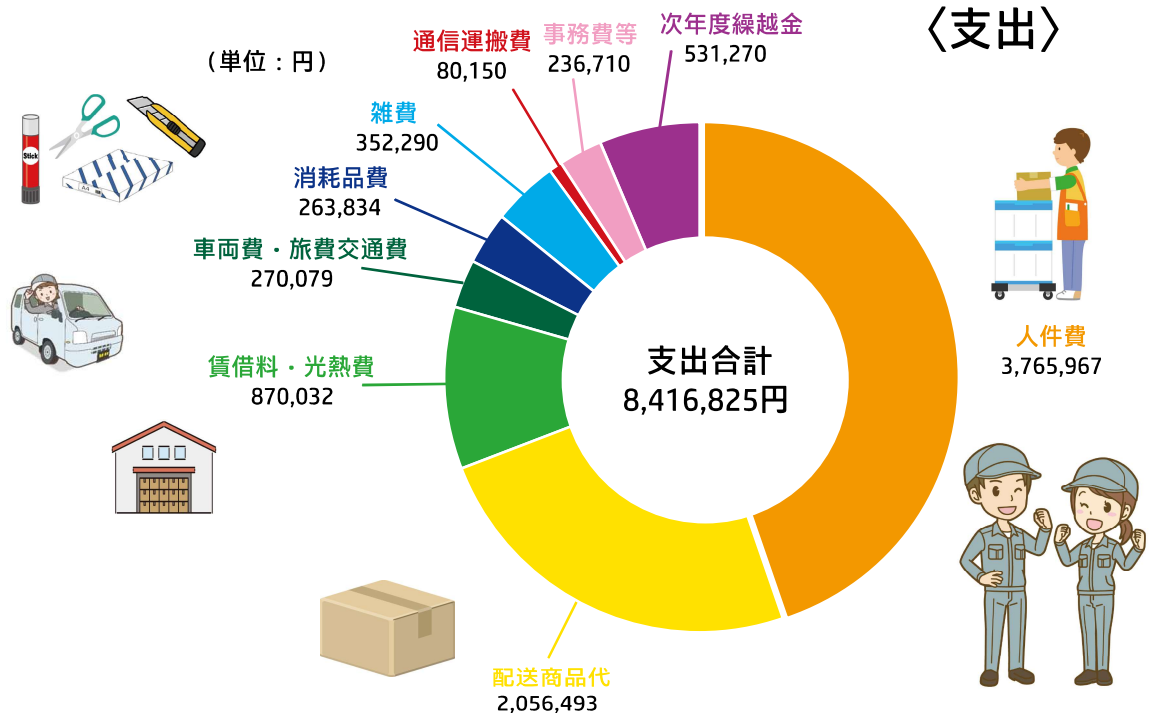
〈収入〉



『向日市こども育み宅食』事業としては、「向日市支援対象児童等見守り強化事業補助金」と「京都オムロン地域協力基金」、賛助会費、寄付金等を活用して実施することが出来ました。



〈支出〉



人件費
3,765,967



- ▶ 人件費は、事業の運営や対象家庭の情報管理、連絡調整、配送・見守り、有識者との定期ミーティング、専門家相談会等、この活動を支えるスタッフに対する費用です。
- ▶ 配送商品代は、ご寄付いただいた食品や日用品等と共に配送する商品を購入するために使用しました。
- ▶ 賃借料・光熱費は、ご寄付いただいた玄米や食品等の保存や梱包作業、配送車両の駐車場として使用している倉庫の維持費用です。
- ▶ 車両費・旅費交通費は、配送車両として使用している軽バンのリース代(保険料込)とガソリン代等です。
- ▶ 消耗品費は、主に梱包のためのコンテナや米袋等の資材、送付状、ごはんレシピ等の印刷のための物品購入費用です。
- ▶ 差引残高の531,270円は、次年度事業に繰越します。

8. 2022年度事業計画

重点目標

★ こども宅食事業『向日市こども育み宅食』

- ① 向日市内全小学校区にて、こども宅食事業の継続的な実施を目指します。
- ② 行政及び民間団体との連携関係を強化します。
- ③ 配送及び見守りを実施しながら、随時必要な支援に繋げることを目指します。

★ こどもの居場所づくり事業『ANOTHERRoom(アナザー)』

- ① 向日市内の一部小学校区においてこどもの居場所づくり事業の実施を目指します。
- ② 一度参加した子どもがリピート参加できるように工夫します。
- ③ ひとり親や生活困窮家庭等の児童が参加しやすい環境を整備します。

年間計画

向日市こども育み宅食

4月	5月	6月	7月	8月	9月
					
10月	11月	12月	1月	2月	3月
					



こども宅食配送：2ヶ月に1回、お米や食品、日用品、文房具等をご利用家庭に配送します。また、コミュニケーションを図りながら、子どもや親の状態、家庭環境の変化等を観察・記録し、相談や困りごと等を傾聴し、必要な支援に繋げています。



専門家相談会：6月から2ヶ月に1回、認定精神保健福祉士や臨床発達心理士、ファイナンシャルプランナーのような専門家による無料相談会を企画・実施します。ご利用家庭が相談ごと等を抱えた際に、無料で相談できる機会を提供します。



LINEの活用：各ご家庭に子育て支援情報や補助金情報等を適宜お届けします。また、チャットにて相談対応もします。直接対面時には相談できないことや突発的に生じた相談ごと等に対応し、場合によっては行政機関や地域の民間団体、専門家等に繋いでいきます。



ANOTHERRoom アナザー

開催日時：毎週火曜日or金曜日 16時～19時（年間約50日）

開催場所：上植野公民館or上植野コミセンor女性活躍センターあすもあ

対象児童：ひとり親or生活困窮家庭等の小学生

参加費：無料

支援内容：学習支援 → 学校の宿題や復習プリント等を用いて、それぞれに応じた学習サポートを講師が行います。

調理実習 → 毎回楽しくて面白い簡単な調理実習を用意し、皆で会食します。（会場によりコロナの影響で飲食出来ない場合は持って帰って食べていただきます。）

生活支援等 → 挨拶や整理整頓、ルールの順守、清潔など基本的な生活習慣の確立に向けた支援を行います。



9. 現在の課題と解決策

活動資金の確保

これまでの活動資金は、自治体からの補助金や各種団体からの助成金、地域の企業や個人からのご寄付によって確保してきました。

活動資金の主な使途は、『配送商品代（購入の場合）』『配送品保管用倉庫代』『配送用車両代』（、『人件費』）等です。

極力無駄な支出がないように都度調整をしていますが、こども宅食事業の場合、事業運営に最低限必要な固定費が大きく、今後の中長期的な活動の実現のためには、これらの活動資金を継続的に確保する必要があります。

- 
- ① 行政からの補助金等の確保に向けた継続的なロビイング活動強化（他団体との協力も）
 - ② 賃借ではなく、有志による配送品保管場所の提供機会を模索（固定費の削減）
 - ③ 企業や地元団体等からの助成・賛助の確保に向けた活動強化
 - ④ 他のファンドレイジング方法を模索



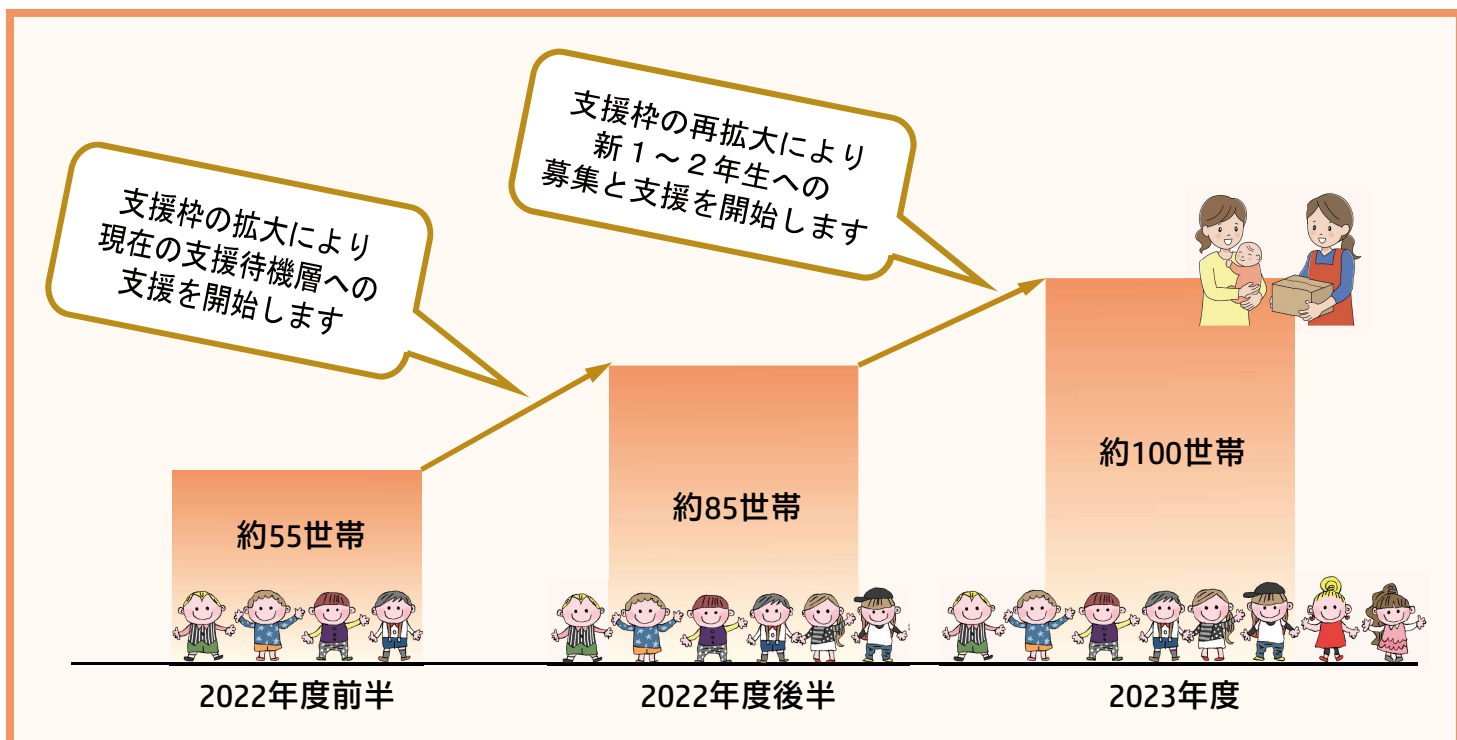
支援対象枠の拡大

2021年度は、『向日市支援対象児童等見守り強化事業補助金』を活用できたため、約100世帯を支援対象枠として活動することができましたが、2022年度は予算の関係もあり年度初めは約55世帯と支援枠を限定しての活動となっています。

向日市の規模感では、常時100世帯程度を支援対象枠として確保できるような環境を整備する必要があります。

※ 支援枠を限定している場合でも、LINEでは常に繋がっており、情報発信や個別の相談等は継続しています。

- 
- ① 配送商品代や人件費を賄うための十分な事業予算の確保
 - ② 配送用の食料品や日用品の寄付を多様な方法で更に募集
 - ③ 梱包・配送ボランティアの確保と研修の実施



10. ご協力いただいている企業・団体の皆様



日東薬品工業株式会社



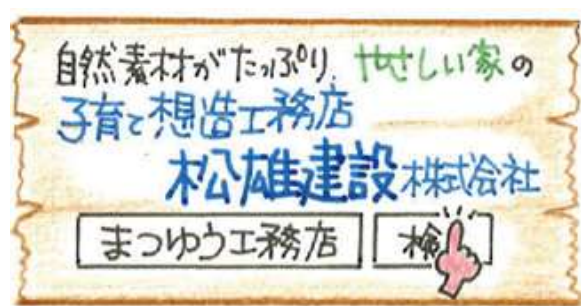
未来図は、対話のなかにある。



人々の健康と幸福に奉仕する

ハマリ産業株式会社

有限会社 吉川工務店



一般社団法人こども宅食応援団 / 日東薬品工業株式会社 / 七姫株式会社 / 公益財団法人京都オムロン地域協力基金 / 有限会社吉川工務店 / 松雄建設株式会社 / 株式会社とうしかく / 株式会社リヴ / ハマリ産業株式会社 / 株式会社マルヤス / 京都乙訓ライオンズクラブ咲乙姫会支部 / 乙訓不登校を考える親の会『大地』 / 教育と人間関係の相談室カンナ / 株式会社第貳表現 / 有限会社九左衛門五十棲建材 / 株式会社西利 / 森井米穀 / 特定非営利活動法人フードバンク京都 / 社会福祉法人京都府社会福祉協議会きょうとフードセンター / 向日市さくらきっちん / 特定非営利活動法人子育て支援ねこばす / 有志の皆様 他多数

(敬称略・順不同)

皆様からの温かいご支援に、心より感謝申し上げます
引き続き、よろしくお願い致します

11. ご支援・ご協力をお願い



《寄付金によるご支援》

『向日市こども育み宅食』は、皆さまからのご寄付によって支えられています。新型コロナの影響等で経済的に厳しくなったご家庭へ届ける食料や物資の調達費、配送費にまず寄付金を充当いたします。また、必要な支援に繋げるための相談会等の実施にも充当していきたいと考えております。皆さまのご支援で1世帯でも多くの対象世帯に手を差し伸べることができるように、是非ご支援・ご協力をお願いいたします。

企業・団体用



個人用



《寄付物品によるご支援》

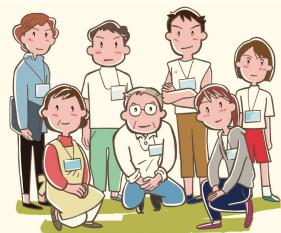
寄付金によるご支援だけでなく、寄付物品によるご支援・ご協力も併せてお願いしています。頂戴致しました寄付物品は、こども宅食の配送梱包品として活用させていただきます。

- 下記のような寄付物品を受け付けています。 -
- ・お米や野菜のような農作物 ・レトルト食品や缶詰、乾物
- ・調味料 ・飲料 ・お菓子等の食品(賞味期限が最低2か月以上)
- ・日用品 ・文房具 等

企業・団体用



個人用



《ボランティアによるご協力》

配送物品の梱包などのボランティアによるご協力もお願いしております。右のQRコードよりボランティア登録をして頂きますと募集中のボランティア情報を随時メールにて共有させていただきます。是非ご登録をお願い申し上げます。



税額控除について

寄付者が法人（企業）の場合は、資本金等の額と所得の額に応じ算出した損金算入限度額までは損金算入（経費扱いに）できます。

一般損金算入限度額：（資本金などの額 × 0.25% + 所得金額2.5%） × 1/4

※ 詳しくは、国税庁ホームページ「一定の寄附金を支払ったとき(寄附金控除)」をご参照ください。



= お問い合わせ先 =

一般社団法人FutureCreationN

✉ Email support@futurecreation2020.com

☎ TEL 090-6962-6590

〒617-0002 京都府向日市寺戸町岸ノ下25-102

<http://futurecreation2020.com>



FutureCreationN